

求めよ！ さらば与えられん

ご存じのように、18歳が成人年齢になりました。6年生は自分の誕生日が来たら大人としての扱いになります。4年生はあと2年、5年生はあと1年。早いものですね。大人には義務と責任もありますが、その一方で大きな可能性と自由も待っています。いい大人に仲間入りできるようになりたいものですね。

小学校から中学校への進学は地元の中学か中等教育学校かの2択でしたが、大学・短大・専門学校・職場の数はかなりの数がありますので、選択肢はたくさんあります。大事なことは「自分で選んだ道を行ける」ということ。「自分が決め」「自分が目指し」「自分が勝ち取る」ことで「自分だけの人生」を創れる、ってすごくないですか？

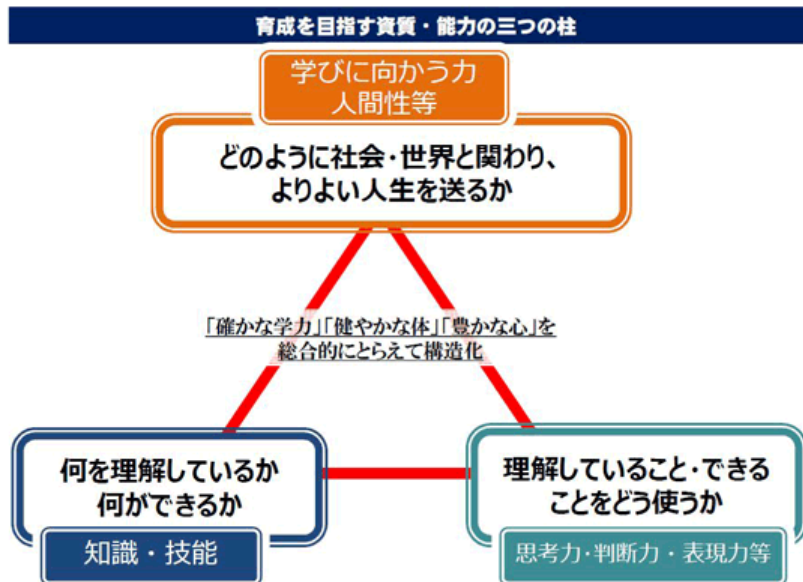
進路を人任せにするとか、仕方なく選んだ進路に進むなんてもったいない！ そう、高校時代って自分が自分を決められるとってもワクワクする時代なんです。

視野を広く持って、一生追い求められる何かを探し、追いかけてみませんか！

新しい学習観について

新4年生からカリキュラムが変わりました。学年によって授業が終わる時間が異なるので不思議な感じがしますね。2年前から大学入試も大きく様変わりしました。かつて「大学入学センター試験」と呼ばれていた大学入試の試験は「大学入学共通テスト」と名前が変わりましたが、大事なことはそこではありません。

2年前の大学入試からは「学力の3要素」をみる入試になったのです。



出典 ベネッセ教育総合研究所 (<https://berd.benesse.jp/>)

これまでは「知識・技能」が主に問われる入試でしたが、現在はこの3つの柱が問われています。かつて、学力を問われなかったAO入試や推薦入試も現在の総合型選抜、学校推薦型選抜では必ず共通テストや小論文などで学力を問われることになりました。知識・技能を主として勝負してきた一般入試も、調査書や学修計画書、志望理由書などを使って「学びに向かう人間性等」を見るようになりました。言い換えれば高校生活では「知識」だけでなく「やる気」「考える力」、「立ち向かっていく姿勢」なども求められているのです。

これまでも授業や家庭学習、様々な課題や朝テストで知識・技能を磨いてきたと思います。それに加えて、後期の皆さんには今まで以上に、学びに向かう力や思考力、判断力、表現力を持ってほしいと思います。がんばろう！

ピンチはチャンス！ オープンキャンパスを活用しよう

コロナウィルスの蔓延によって、いろいろな行事が中止や延期を余儀なくされました。オープンキャンパスもその一つ。受験生にとってはある意味、大ピンチ・・・ですが**地方の受験生にとってはまたとないチャンス**となりました。

大学がたくさんある都会に住む受験生はたくさんオープンキャンパスに参加したり説明会に出席したりできました。ここ村上中等教育学校にもたくさん案内が来るのですが、とても行けそうにないものも少なくありません・・・でした。

でも感染防止のために多くの大学がオンラインのオープンキャンパスを始めたので、距離的なハンディキャップはかなり埋まっています。**今がチャンス！**

前述したとおり、現行の入試制度では「学びに向かう人間性」も問われています。つまり、「〇〇を学びたいので、〇〇大学の体験講義に参加しました」とか「〇〇大学のオープンキャンパスに参加しました」という事実はアピールできるポイントとなるのです。実際、総合型選抜や学校推薦型選抜で志望理由書や活動記録などを提出する際に、こういった事実は使えます。

昇降口側の階段を上ったところにある掲示板に、たくさんオープンキャンパスやイベントの案内を掲示しておきました。興味があるものはチェックして、ぜひ参加してください。そして参加したらそれを記録にとることをお勧めします。ベネッセのマナビジョン (<https://manabi.benesse.ne.jp/>) にログインするとポートフォリオの入力ができるようになるはず。経験したこと、振り返りなどをこまめに記入しておく自分の成長にもなりますよ。

(4年生は返却されたスタディサポートの個人票にあるIDを使ってください)

第一希望の大学だけではなく興味がある分野のオープンキャンパスにもたくさん参加して比較する方がいいでしょう。全国の大学にアクセスできるのですから、第一志望の大学だけ、というのはもったいない。大事なものはその分野にどれだけ興味があるか、という姿勢なので、複数の大学を比較してこそ意味があります。あと、いまは多くの大学がオンラインで入学願書受付手続きをしているので、操作に慣れておくと後々楽です(実は入力に何度も失敗してイライラする人続出です)。

部活も行事も精一杯やるぞ

部活動登録が20日に予定されていますが、部活も「学びに向かう力」「判断力」などと大いに関係があります。「部活動の時間が制限されているから不利だあ」とか弱音を吐かないで！ 「大会で勝てないから不利だあ」とか泣き言言わないで！ 結果よりプロセスが大事です。高校生が全員、甲子園に出場できるわけではありません。実際、大会が次々に中止になった去年は、「限られた練習時間で工夫して頑張った」とか「最後の大会に出場できなかったが最後までチーム内で励ましあった」といったことが大学入試でも評価されていたようです。

皆さんの部活ではちゃんとチームとしての目標を持っていますか？ その目標に向けて、工夫して取り組んでいますか？ 逆境をはねのける心の強さを持っていますか？ それはすべて、皆さんを強くする大事な要素です。

体育祭も同じこと。限られた時間でも、知恵を出し合い、勇気を出し合い、励ましあいながら頑張る姿は絶対に皆さんの人生にプラスになるはず。 (ついでに、これもポートフォリオに残しておけますよ)

6年生は最後の県総体も待っています。精一杯取り組んで、悔いの残らないような高校生活を送ろう。

5年生は体育祭の主役です。全力で取り組んで、全校を盛り上げましょう。

4年生はいよいよ高校の大会に出場できるようになります。自分の可能性をとことん追求しよう！

(文責 進路指導部長 星野 真博)

*タイトルについて そう、トリプルコーク1440は大技です。翔ぼうと決意してがんばらないと翔べない。でもこの村上の地から金メダリストがでるんだから、不可能なんてない。君も君自身の1440を翔んでください。